

もっと知りたい!

# 海上保安庁 海の管制官のお仕事 Q & A

## Q1 海の管制官のやりがいは何ですか?

A 海の管制官が安全情報の提供や船の航行管制を行う海域は、巨大タンカーや貨物船、客船など様々な種類の船が行き交う海域です。この海域の海上交通の安全を守る事が、海の管制官の使命です。複数の船が行き交う中、早期に危険な状態を予測し、無線を通じて自分の声(言葉)で海難事故を未然に防ぐ仕事は、船の安全を守ることを実感でき、非常にやりがいを感じる仕事です。

## Q2 管制課程ではどんなスキルが習得できますか?

A 管制課程では、国内はもとより外国船との通信に必要な第3級海上無線通信士のほか、第2級陸上特殊無線技士、第1級小型船舶操縦士の資格を取得します。また、英語に関してはTOEIC600点以上の取得を目指すカリキュラムとなっております。

## Q3 管制課程卒業後の配属先はどのように決まるのですか?

A 本人の希望や適性等により、主に全国7箇所に設置されている海上交通センターに配属されます。  
●東京湾海上交通センター(神奈川県横浜市)  
●名古屋港海上交通センター(愛知県名古屋市)  
●伊勢湾海上交通センター(愛知県田原市)  
●大阪湾海上交通センター(兵庫県神戸市)  
●備讃瀬戸海上交通センター(香川県綾歌郡宇多津町)  
●来島海峡海上交通センター(愛媛県今治市)  
●関門海峡海上交通センター(福岡県北九州市)

## Q4 管制課程卒業後はどのようにキャリアアップできますか?

A 本人の希望や適性等を踏まえ、概ね2~3年毎に異動し、幅広い知識や経験を身につけていきます。「海の管制官のキャリアパスモデル」に沿ったキャリアアップのほか、本庁や管区本部での勤務も可能です。また、幹部への登用(海上保安大学校特修科)の道もひらけています。

## Q5 海の管制官の勤務サイクルを教えてください。

A 海上交通センターは24時間体制で管制業務を行うため、海の管制官は、基本的に日勤、夜勤、夜勤明け(非番)、公休のサイクルで勤務します。

## Q6 海上保安庁は「男の社会」のイメージがありますが、女性の活躍ぶりを教えてください。

A 部門を問わず、たくさんの女性が活躍しています。海上交通センターにおいては、一般論として無線から聞こえる音声は「女性の声のほうが聞き取りやすい」という意見も多くあることから、海の管制官は女性の活躍が期待される職場の一つとなっています。

## Q7 「体力に自信がない」「泳げない」そんな自分でも海上保安官になれますか?

A 海上保安学校において必要な訓練を行い、また、本人の努力と教官の指導により泳げるようになりますので心配ありません。

## Q8 子育てをしながら仕事を続けることはできますか?

A 全ての職員が、自分の生活を大切にしながら、生き生きと働き続けられるよう、それぞれの状況に応じて両立支援制度が用意されています。職員本人が出産する場合はもちろん、配偶者が出産を控えている職員にも、産休制度があり、その後も育児休業や、フレックスタイム勤務、育児時短勤務など様々な制度を利用することができます。管理職員から職員に対して各種制度を紹介し、取得を促すなど活用促進の取組も行っています。

## Q9 福利厚生はどうなっていますか?

A 福利厚生については、職員の生活をサポートするための財形貯蓄制度、転勤者への宿舍制度(単身用、世帯用)など様々な制度があります。  
(例)・国家公務員宿舍  
・福利厚生提携事業(引越運送、プール等入場料割引、レオパレス割引)  
・海上保安庁総合保険  
・個人型確定拠出年金(個人型DC,iDeCo)  
・職員相互互助会

海上保安官を目指す方々へ! ~充実のコンテンツで受験生の知りたいをサポート~



海上保安庁  
JAPAN COAST GUARD



採用情報のポータルサイトとして  
採用ホームページ



タイムリーな情報を提供  
Twitter



リアルタイムで質問もできる  
WEB説明会



知られざる海上保安官の姿も  
Instagram



海の管制官の情報は全てここに  
海の管制官ポータルサイト



様々な情報をわかりやすく  
YouTube



《海の管制官についてのお問合せ先》 海上保安庁 交通部 企画課 監理係  
TEL:03-3591-5650

海上保安庁 学生募集

検索



仲間とともに日本の海を守る。

# 海の管制官募集



JAPAN COAST GUARD

海上保安庁

# Work Style 海の管制官のワークスタイルを紹介

**海の管制官の仕事とは？** 東京湾や伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海の船が多く通航する海域に設置された海上交通センターにおいて船の安全運航に必要な情報の提供や航行管制等の業務を行っています。

《海の管制官の勤務体系は、日勤当直と夜勤当直の交代制勤務です》

ONE DAY  
海の管制官の  
1日に密着!



海上交通の安全を守りまします!

朝や夕方は、荷物の積み降ろしのため、港に出入りする大型船の通航が増え、航路は特に混雑します。大型船は航路に入る時刻を事前に通報します。通報の受付を行うとともに、無線等を用いて、航路内の状況や通航間隔の調整など、きめ細やかな情報提供を行います。



《朝・夕刻》航路内の混雑

時々目視でもチェック。外国船も多く通るので、情報が伝わるまで何度も伝えます。日々勉強です!



昼食は一人で食べる人が多いですが、気さくな方ばかりなので、休憩中は仕事の相談からスイーツのことまでいろいろ話しています。

《昼》昼食・休憩



日勤

10:00

08:30

食事



濃霧が発生しました。船舶への影響を調査するとともに、航行船舶へ航路内の状況などきめ細かな情報提供を行います。また、状況に応じて航行を禁止とし、船舶などに周知を行います。

《朝》霧の発生

夜勤

昼夜を問わず緊張感のある職場です。夜勤は1時間毎に交代。ストレッチして頑張るぞ!

00:00

24:00

夜勤

《09:00~》《16:30~》  
当直交代



仕事帰りはバドミントンしたりスイーツを食べたり、プライベートも充実!

現当直者から次の当直者へ業務の引継ぎを行います。現在の海域の状況、今後の大型船の通航予定などを引継ぎます。



油を満載にした長さ200メートルを超える巨大なタンカーが航路に入りました。ひとたびタンカー事故が発生すれば人命や船舶に危険が及び、物流がストップするばかりか、油の流出により、付近の海洋環境などに甚大な影響を与えます。航路しよう戒中の巡視艇と連携して、安全の確保に努めます。

《昼》大型タンカーの航行

## INTERVIEW

たくさんの方とのコミュニケーションで日々磨かれる感性

【配属先】  
関門海峡海上交通センター 運用管制官付  
(海上保安学校 管制課程卒業(第一期生))  
座右の銘: 臥薪嘗胆

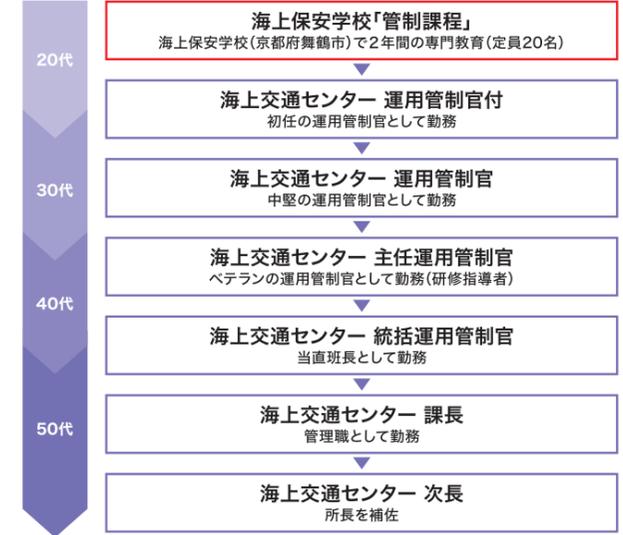
私が海の管制官を目指したきっかけは、同じ海上保安官である父の影響でした。管制課程卒業後、海上交通センターに配属され、現場で実践を積みながら海の管制官として日々海上交通の安全を守っています。事故を未然に防ぐ大事な役割を担っており、「ありがとう」と言われたときはとてもやりがいを感じました。海上保安庁にはいろいろな経験をしてきた幅広い年代の職員がいます。仕事を通してたくさんの方とコミュニケーションをとるので、以前より自分の感性が磨かれ、先のことを考えて行動するようになりました。海の管制官は経験を積み誰にでもなれるチャンスがあります!一緒に海上交通の安全を守ることができる日を心待ちにしております!!



# Career Advancement 女性が活躍できる職場として整った環境

海の管制官のキャリアパスモデルについて

即戦力かつ長期戦力となる運用管制官を安定的に育成するため、平成30年度に新設!



※一例であり、個人の希望や適性に異なります。  
※一定の期間現場で仕事をした後、選抜された職員については、海上保安大学校の特修科に進み、幹部職員となる道もあります。



海の管制官の仕事動画を紹介します



360度で見よう。海の管制官のお仕事職場体験!!



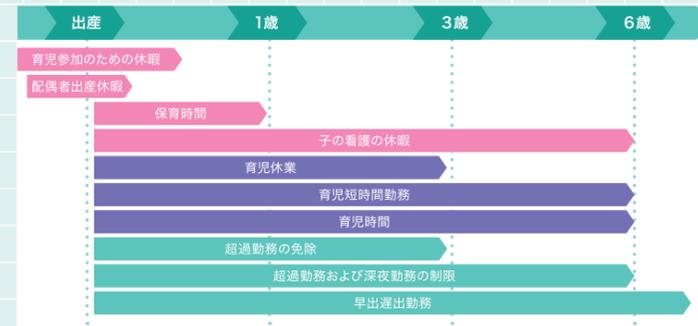
研修が充実 誰にでも成長できるチャンスがあります!

【配属先】東京湾海上交通センター 統括運用管制官  
(海上保安学校 通信課程卒業)

元々、海や船に関する事に憧れており、高校生の時に海上保安庁が女性を採用し始めたのがきっかけで受験しました。海上保安学校の通信課程を卒業後、巡視船勤務を経て、本庁、管区本部、海上保安部そして海上交通センターで勤務してきました。海上保安官は、陸上勤務と海上勤務を通じて経験を積みながら、それぞれの適正と希望に応じて様々な研修を受けることでキャリアアップを図ります。女性が活躍できる職場としての環境もしっかり整っており、転職はあってもキャリアを着実に積んでいけるので、誰にでも成長できるチャンスがあります。海や船に興味がある方、コミュニケーションをとるのが好きな方、ぜひ一緒に働きませんか?

# Work-life balance 育休を取得して家族と仕事を両立できる安心の環境

《男性職員の場合》



両立支援制度の概要《育児や介護と仕事を両立するための制度が用意されています》

低産出産	育児	介護	両立支援制度	制度の概要
○	○	○	配偶者出産休暇	妻の出産に伴う入院の付添い等を行うための休暇(2日)
○	○	○	育児参加のための休暇	妻の産前産後期間中に、未就学児を養育するための休暇(5日)
○	○	○	保育時間	1歳未満の子の授乳等を行う場合に30分勤務しないこと(1日2回まで)
○	○	○	子の看護休暇	未就学児を看護するための休暇(年5日(子が2人以上の場合は10日))
○	○	○	育児休業	3歳未満の子を養育するための休業
○	○	○	育児短時間勤務	未就学児を養育するため、通常より短い勤務時間(週19時間25分等)で勤務すること
○	○	○	育児時間	未就学児を養育するため、1日2時間まで勤務しないこと
○	○	○	介護休暇	家族の介護を行うための休暇(通常6カ月。3回まで分割可。)
○	○	○	介護時間	家族の介護を行うための休暇(連続3年の間に1日2時間まで)
○	○	○	短期介護休暇	家族の介護を行うための休暇(年5日(要介護者が2人以上の場合は10日まで))
○	○	○	超過勤務の免除	3歳未満の子の養育又は家族の介護のため、超過勤務しないこと
○	○	○	深夜勤務の制限	未就学児の養育、家族の介護のため、深夜(午後10時~午前5時)に勤務しないこと
○	○	○	超過勤務の制限	未就学児の養育、家族の介護のため、1月に24時間、1年に150時間を超えて超過勤務しないこと
○	○	○	早出遅出勤務	未就学児の養育、小学生の放課後児童クラブへの送迎、家族の介護のため、勤務時間帯を変更
○	○	○	フレックスタイム制	総勤務時間数を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更
○	○	○	休憩時間の短縮	未就学児の養育、小学生の送迎、家族の介護、妊娠中通勤のために、職場にいる時間を短縮



父親の代わりはいません 育休を取得してよかったです!

【配属先】東京湾海上交通センター 運用管制官付  
(海上保安学校 情報システム課程卒業)

私は子供の頃から船に乗る機会が多く、海の安全・安心を支える管制業務に魅力を感じ、海の管制官を目指しました。レーダ等を駆使し、海の安全を自分の手で守るといふ使命は大きな充実感があります。海上保安庁では男性の育児休暇取得を推進しており、私も2人目が産まれる際に2週間の育児休暇を取得しました。長男の育児を全て担うことで妻も精神的な負担が減り、安心して2人目の出産を迎えることができました。海の管制官は日勤当直と夜勤当直の交代制勤務なので、子供の育児等、家庭と仕事の両立を図りやすいのも魅力の一つです。海の管制官は様々な部署で経験したことが今の業務に活かせる職場です。ぜひ挑戦してみてください!